

第 93 回（2022 年春季）講演大会開催報告

2022 年 5 月 19 日（木）と 20 日（金）の二日間、第 93 回講演大会（実行委員長：船川學術研究委員会委員長）を東京工業大学（東工大）大岡山キャンパス「デジタル多目的ホール」にて開催し、無事終了いたしました。

毎年春季講演大会は東工大大岡山キャンパスにて開催しておりましたが、新型コロナ禍のため一昨年度は中止、昨年度は完全オンライン方式での開催を余儀なくされました。昨年末に終息を予感させた都内の新型コロナ感染者が年明け後に増加に転じ、2月に20,000人/日を超えた時点では5月の開催が危惧されましたが、ゴールデンウィーク後の感染拡大が見られなかったため3年ぶりに東工大を会場とした対面開催が叶いました。

今回は、講演者は全員東工大会場にて講演いただきました。同時に Zoom ウェビナーにて講演を配信することで、来場いただけない方にはオンラインで聴講いただきました。

デジタル多目的ホールには初日：58名、二日目：38名の方が集い、オンライン配信には初日：55名、二日目：55名の方にアクセスいただき、活発な質疑応答がなされました（写真1）。

運営に関しましては、リハーサルから本番に至るまで東工大竹山教授と竹山研究室の学生の皆さんの御協力を得てスムーズに実施することが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

今回の講演大会では、河上・赤見記念講演：1件、Jセッション講演：9件、一般講演：6件、シンポジウムでの基調講演：1件、依頼講演：5件の発表がありました。

初日は、冒頭船川実行委員長のオンラインでの開会の挨拶（写真2）に続いて、午前中9件のJセッション発表があり、若手研究者・技術者によって熱処理による組織と特性制御、表面改質、熱処理プロセスなど興味深い研究成果が発表されました。

午後は、企業展示を頂いた3社の出展社の会社紹介プレゼンに続いて河上・赤見記念講演が行われました。

河上・赤見記念講演では、東京工業大学物質理工学院 竹山雅夫教授より「耐熱合金の高性能化には結晶粒界組織制御が重要だ!!」と題して、耐熱鋼の材料設計に対する結晶粒界制御の重要性について過去の教科書の記述の誤りを指摘しながら、革新的耐熱材料の組織設計の指導原理について示唆に富むお話をいただきました。

講演終了後は、2021年度協会賞および研究発表奨励賞の表彰式に続いて技術育英賞受賞講演が行われ、奥宮会長より各賞受賞者に賞状とトロフィーが授与されました。



写真1（上段）講演会場の様子



写真2 船川委員長の開会挨拶



写真3 林賞受賞の東工大竹山君



写真4 林賞受賞のネツレン三阪君



写真5 貢献賞受賞の上島熱処理鶴見君

学術功績賞林賞を東京工業大学竹山雅夫君（写真3）が、技術功績賞林賞を高周波熱錬三阪佳孝君（写真4）が受賞され、永年の熱処理技術への功績により上島熱処理工業所鶴見州宏君が貢献賞を受賞されました（写真5）。

研究発表奨励賞に関しては、昼食を挟んで杉山昌章審査委員長を含め10名の審査委員で厳正な審査を行い、下記の最優秀1件と優秀2件の研究発表奨励賞を選出し、協会賞受賞式に続いて奥宮会長より受賞者に賞状が授与されました（写真6）。

[最優秀賞]：九州大学大学院 末松直幸君

講演題目「18Ni マルテンサイト鋼の組織と変形挙動の関係に及ぼす炭素添加の影響」

[優秀賞]：山陽特殊製鋼(株) 渡邊啓介君

講演題目「複相変態時の変態塑性係数の逆解析による特性」

[優秀賞]：関西大学 小川裕聖君

講演題目「プラズマ窒化とDLC成膜の複合処理におけるDLC膜の密着性におよぼす窒化処理条件の影響」

二日目の午前中は6件の一般講演があり、活発な質疑が行われました。

二日目の午後は、「耐熱材料の用途と設計の新展開」と題するシンポジウムが開催され、地球環境問題と不可分の高温環境で使用される耐熱材料の、開発の変遷から耐熱材料に求められる諸特性とその制御に関する最新の研究開発成果について一件の基調講演と5件の依頼講演をいただきました。

基調講演では、大同特殊鋼(株)の植田茂紀氏より「自動車用耐熱材料の開発変遷と今後の動向」と題するお話をいただき、招待講演では耐熱合金の組織制御、耐熱鋼の析出物の安定性と構造解析、耐熱性の計算機解析、積層造形による新たな耐熱材料創生技術など、耐熱材料開発の歴史から今後の開発の方向と新技術紹介に至る、時宜を得た示唆に富むシンポジウムとなりました。

最後に、中部支部大林支部長より次回第94回(2022年秋季)講演大会は中部支部主催で2022年11月24日と25日の両日名古屋国際会議場にて開催することを紹介して二日間の講演大会を締めました(写真7)。

本講演大会の企画・準備・実施に携わっていただきました全ての関係者に心よりお礼申し上げます。

尚、船川学術研究委員長は本大会をもって退任して学術研究委員会アドバイザーに就任します。後任の委員長には現副委員長の関西大学西本明生教授が就任いたします。

今後とも学術研究委員会へのご理解とご支援を宜しく願います。



写真6 研究発表奨励賞受賞者とJセッション発表者



写真7 大林中部支部長の閉会挨拶